

2023年5月17日

自己手配による海外リサーチ・クラークシップについて

リサーチ・クラークシップは、本学教員と派遣先大学の教員の強固な信頼関係に基づいて実施されるものです。海外リサーチ・クラークシップ希望者のうち、別表1の大学公式の派遣先以外を希望する学生は、以下の通り手続きを行うこととします。希望が叶わない場合もありますので時間に余裕をもって手続きを進めてください。(〆切：希望出発年度前年の7月上旬まで) ※公式の海外リサーチ・クラークシップとの併願はできません。

| | タスク | 担当 | 時期 |
|---|--|------------------------------|---------------|
| 1 | 希望海外ラボに自身で打診のうえ、内諾 (Letter of Provisional Acceptance) を得ること。その際、別添チェックリスト記載項目についてお伝えし、確認すること | 学生⇄海外ラボ | ~7月3日 |
| 2 | 医学教育推進課に申請： ① Letter of Provisional Acceptance ②チェックリストの控え ③自己手配によるリサーチ・クラークシップ実施希望届 (海外) ④英文履歴書 (A4で1枚程度/様式自由) ⑤Personal Statement (A4で1枚程度/様式自由) ※④⑤：派遣希望先に提示したものがあれば、そちらを提出 ⑥成績証明書 (和文) ⑦英語のスコア (ある場合) 上記を添付のうえ、自己手配による海外リサクラ希望の旨をメールにて申請 (宛先： ycumedgl@yokohama-cu.ac.jp) | 学生→ 医学教育推進課 (医学国際化等担当) | 7月3日〆切 |
| 3 | 催行の可否を検討。許可の場合、本学窓口教員を選定 ※必要に応じて学生と面談 | グローバル推進部門長 基礎部門長 | 7月中旬 |
| 4 | 学内受入担当教員への依頼 | 医学教育推進課 | 7月下旬 |
| 5 | 学内受入担当教員による派遣希望学生との面談 | 学内受入担当教員 | 7月下旬~ 9月半ば |
| 6 | <u>学内受入担当教員より海外ラボ担当教員</u> への依頼・交渉 | | |
| 7 | 海外リサクラ先担当教員及び本学受入担当教員、派遣希望学生との三者面談実施 | | |
| 8 | 留学届 (Form) を含む必要書類 (誓約書、パスポートの写し、 <u>有効期間内の英語スコア</u> 、COVID-19 ワクチン接種証明書) の提出 | 医学教育推進課 | 9月25日 |
| 9 | 会議での正式承認 | 医学教育推進課 | 10月教授会 |

<留意事項>

- (1) 原則、大学、後援会等からの経済的支援はありません。
- (2) 危機管理セミナーへの出席、緊急連絡先の提出、大学指定の保険への加入、事後報告書の提出、報告会での報告など、大学のプログラムに準じた参加者としての義務を果たすこと。
- (3) 出発・帰国日については、原則プログラム期間前後の土・日曜日、または派遣予定先の教員の指示に従うこと。

別表 1

| 大学および研究機関 | 受入担当教員 (派遣先) | 受入担当教員 (本学) |
|------------|----------------------|---------------------|
| シンガポール国立大学 | 須田年生 先生 | 免疫学 田村智彦先生 |
| シンシナティ小児病院 | 武部貴則 先生 | 臓器再生医学 小川毅彦先生 |
| テンプル大学 | 江口暁 先生 | 内分泌・糖尿病内科学 寺内康夫先生 |
| スタンフォード大学 | 中内啓光 先生 | 血液・免疫・感染症内科学 中島秀明先生 |
| ウェイん州立大学 | 浅野英司 先生 | 神経内科学 田中章景先生 |
| コーネル大学 | Ronald G. Crystal 先生 | 救急医学 竹内一郎先生 |

【問合せ先】

医学教育推進課医学国際化等担当
ycumedgl@yokohama-cu.ac.jp